

ふりがな 氏名	たにはた みさと <b>谷端 美里</b>	都道府県	和歌山県		
所属/肩書	開智中学校・高等学校／教諭				
関心・活動の SDGs	  				
私のESD活動	日々、学級経営や教科の授業、クラブ活動などを通じて、未来に生きる中高生と全力で向き合っています				

## 活動の概要

よりよい未来に向けて、前向きで主体的に行動できる人材を育てることこそが私の一番の ESD 活動であると信じ日々子供達に接しています。前向きで主体性を持った生徒を育てるためには、小さな成長を見逃さず認めてあげることや、様々な経験を積ませること、自分の行動が周りに影響を与えると実感させることが大切であると考えています。具体的には朝の HR が始まる前に子供達が 1 日のはじめを前向きな気持ちでスタート出来る内容の黒板を書いたり、1 年の終わりにはクラス全員のよいところを書き合って互いに交換させ、自分のことを認められる機会を設けています。教科では、未だに保健体育をはじめとして、受験に必要な 5 教科以外を「副教科」と呼ぶ生徒がいますが、その価値観こそが社会からの刷り込みであることを気づかせ、体力、社会性、主体性を学べる体育、そして命の尊さ、環境問題や健康などを学べる保健を総合した保健体育が私は人生において最も大切で必要な科目と考えていると伝え、授業を展開しています。最近の中 2 の保健授業では、「水・空気・廃棄物」の環境問題について、日本にとどまらず世界に目を向けさせ、世界・日本の現状を学んだ上で、今の私たちに出来ることはなにか考えさせました。今後は子供達の脳内で完結させるのではなく、小さくても行動に移し、なおかつその小さな行動が世界や誰かのためになっていると感じられる様に工夫した取り組みを行いたいと考えています。

・開智中学校・高等学校 国際交流 HP <http://www.kaichi.ed.jp/international/>

## 私が考える教育の未来像

現在は、インターネットを利用すれば、教師がいなくとも欲しい情報を入手でき、オンラインで授業を受けることさえ可能になっています。学校に行かなくてもよいと感じる子供達も出て来る未来において、学校は今以上に「学校だからこそ出来る + α の経験、付加価値」を生み出せる場所になる必要があると考えます。私立・公立の違いや障害の有無、家庭環境にかかわらず、学校という 1 つの社会で、様々な人と関わりながら学び、その学びを通じて自分の存在を認められる経験や、自分の行動によって社会・周りに影響を与えられたと実感出来る経験をさせ、未来に希望を抱き、前向きに行動できる人材を生み出す教育を行うべきだと考えます。

## 私の強み、活かせる経験やスキル

私は、長年に渡る団体競技の経験を生かし、仲間が意見を言いやすい空気を作り、集団をまとめることが得意です。また、自分の考えに固執せず、優れた仲間の意見に共感すれば、すぐに考えを変更出来る柔軟性もあるので、参加者の方と有意義に話し合いを進められると考えます。教員 1 年目の年には、チアリーダー応援団を立ち上げてほしいという声に、すぐさま手を挙げ、ユニフォーム発注、有志生徒募集、振り付け考案、全国大会引率を行いました。ゼロから何かを生み出す大変さもありましたが、共感できること、生徒のためになることに対して楽しむ気持ちを持って行動できるので、今回もよりよい未来をつくるために行動したいと考えています。